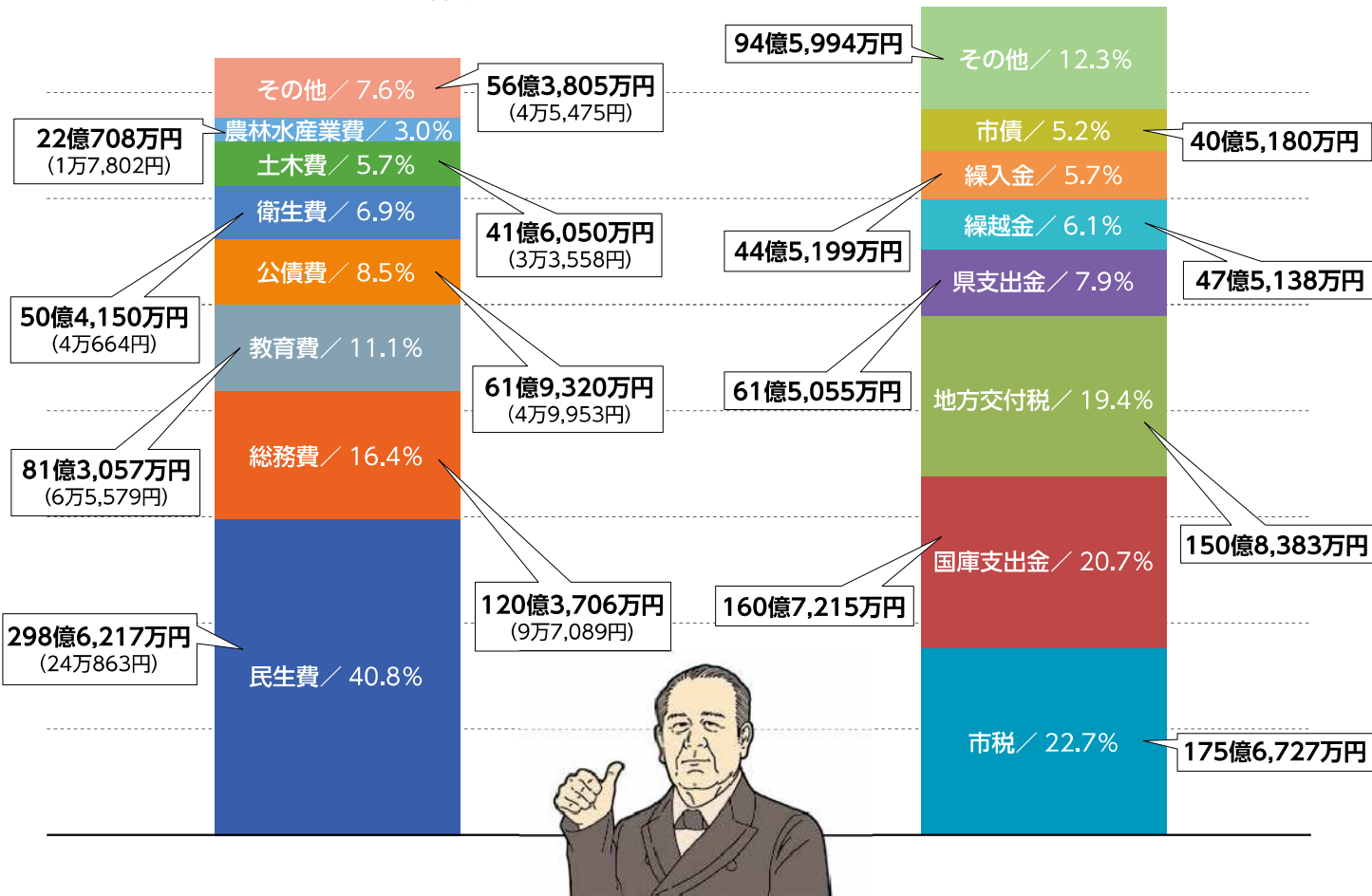


# 令和5年度 一般会計の決算

歳出 732億7,013万円

( )内は市民一人当たりの金額

歳入 775億8,891万円



市民一人当たりに使ったお金は  
 令和6年1月1日現在の人口  
 732億7,013万円 ÷ 123,980人  
 = 59万983円  
 でした。

**皆** さんは給料などの入ってくるお金と、食費・光熱水費・教育費などの出ていくお金を計算しながら家計をやりくりしていると思います。霧島市では、1年間にいくらかお金が入ってくるか(歳入)と、どの仕事にいくらかお金を使うか(歳出)を見積もり、計画を立てて運営しています。このようなお金の計画を見積もったものを「予算」、予算に基づいてやりくりした結果を「決算」といいます。市では条例に基づき毎年11月、前年度決算と現年度の財政事情を公表しています。

**令** 算は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

事業の実施や給食公会計化の開始、国民体育大会関係などにより、歳入が前年度に対して6.2%増の総額775億8891万円、歳出が前年度に対して7.3%増の総額732億7013万円となりました。歳入から歳出を差し引いた形式収支は43億1878万円の黒字、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支(決算剰余)は32億7532万円の黒字となりました。決算剰余金は法令に基づき、翌年度以降に積み立てなどを行うほか、各種事業の財源として活用します。一般会計で管理する財産には土地・建物のほか、貯金に当たる「基金」があります。年度間の財源調整や特定の目的のための資金として積み立てています。年度間の財源調整には、借金である「市債」を発行する方法もあります。長期間利用する施設建設のため、次世代にも費用を負担してもらうような場合に有効な手段で、後の返済が大きな負担とならないよう計画的な発行に努めており、合併以降は残高が減少しています。

霧島市の財政事情を公表します



## 家計簿 まちの

用語説明(歳入)	
市税	市民税や固定資産税などに納められた税金
国庫支出金	市が行う特定の事業に対して、国から交付されたお金
地方交付税	地方公共団体が等しく行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国から自治体に配分された税金
県支出金	市が行う特定の事業に対して、県から交付されたお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
繰入金	基金(市の貯金)や特別会計などから繰り入れられたお金
市債	市が行う公共事業などの財源として、財政負担の平準化および世代間の負担の公平などを図るため、国などから借入れたお金
その他	地方消費税交付金、使用料及び手数料、諸収入、地方譲与税、分担金及び負担金、財産収入、寄附金として納められたお金など

用語説明(歳出)	
民生費	高齢者や障がい者、児童の福祉推進などに使われたお金
総務費	総務人事管理、財産管理、企画調整、地域振興、税務事務などに使われたお金
教育費	公立学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進などに使われたお金
公債費	これまでに公共事業などの財源として借入れた借金(市債)の返済に使われたお金
衛生費	ごみ、し尿の処理や健康増進事業などに使われたお金
土木費	道路や公園、公営住宅などの整備に使われたお金
農林水産業費	農業、林業、畜産業、水産業などの振興に使われたお金
その他	消防費、災害復旧費、議会費、労働費、商工費、公営企業会計への支出金に使われたお金

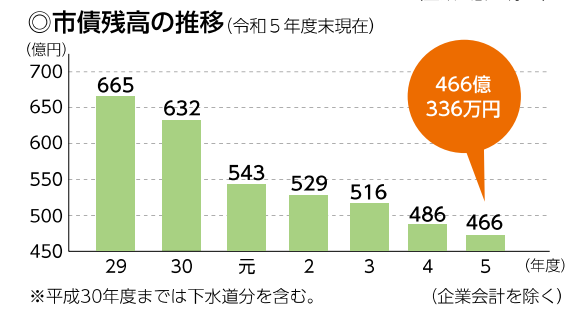
◎財産の状況(令和6年3月31日現在)

区分	現在高
土地	3,664ha
(うち市有林)	(2,018ha)
建物	898,444㎡
計	270億7,584万円

基金	内訳	金額
基金	財政調整基金	57億2,660万円
	減債基金	31億7,757万円
	特定建設事業基金	53億5,468万円
	その他の基金	128億1,699万円
有価証券		2億4,150万円

(企業会計を除く)



# 令和6年度上半期(9月30日現在)の財政状況

ここでは今年度上半期の財政状況をお知らせします。  
一般会計予算現額780億4,947万円に対し、収入率が42.1%、執行率が35.6%となっています。

## ◎一般会計(歳入)

	予算現額	収入済額	予算構成比	収入率
国庫支出金	168億9,885万円	36億6,803万円	21.7%	21.7%
市 税	160億2,700万円	100億7,336万円	20.5%	62.9%
地方交付税	133億 円	100億2,245万円	17.0%	75.4%
市 債	72億5,320万円	0円	9.3%	0.0%
県 支 出 金	59億8,401万円	3億8,054万円	7.7%	6.4%
繰 入 金	48億3,959万円	0円	6.2%	0.0%
繰 越 金	37億 124万円	43億1,878万円	4.7%	116.7%
そ の 他	100億4,558万円	44億 147万円	12.9%	43.8%
歳入合計	780億4,947万円	328億6,463万円	100.0%	42.1%

## ◎一般会計(歳出)

	予算現額	支出済額	予算構成比	執行率
民 生 費	285億4,966万円	107億9,831万円	36.6%	37.8%
総 務 費	116億8,860万円	37億3,214万円	15.0%	31.9%
教 育 費	81億1,283万円	31億8,325万円	10.4%	39.2%
衛 生 費	76億4,743万円	20億8,222万円	9.8%	27.2%
土 木 費	71億3,731万円	16億5,784万円	9.1%	23.2%
公 債 費	59億3,634万円	29億2,434万円	7.6%	49.3%
農林水産業費	27億6,147万円	7億7,392万円	3.5%	28.0%
そ の 他	62億1,583万円	26億7,202万円	8.0%	43.0%
歳出合計	780億4,947万円	278億2,404万円	100.0%	35.6%

## ◎特別会計

会 計 名	予算現額	歳 入		歳 出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	145億1,450万円	57億6,735万円	39.7%	52億8,979万円	36.4%
後期高齢者医療	19億1,273万円	6億 792万円	31.8%	5億8,760万円	30.7%
介護保険	114億1,272万円	50億9,929万円	44.7%	46億6,499万円	40.9%
交通災害共済	1,675万円	2,876万円	171.7%	244万円	14.6%
温泉供給	7,943万円	3,873万円	48.8%	2,774万円	34.9%

## ◎財産と市債の状況 (企業会計を除く)

区 分	現在高	一人当たり現在高	
土 地 (うち市有林)	3,664ha (2,018ha)	0.030ha (0.016ha)	
建 物	898,845㎡	7㎡	
基 金	277億1,516万円	225,094円	
内 訳	積立基金	241億6,179万円	196,235円
	その他の基金	35億5,337万円	28,859円
有価証券	2億4,150万円	1,961円	
市 債	437億5,846万円	355,393円	

※一人当たり現在高は、同日現在の住民基本台帳人口123,127人で除して算出したものです。

## ◎企業会計

会 計 名	収益的収入・支出				資本的収入・支出			
	収入	収入率	支出	執行率	収入	収入率	支出	執行率
水 道 事 業	予算額	23億9,307万円	39.7%	19億7,218万円	35億 240万円	0%	49億2,577万円	12.8%
	収入済額または執行済額	9億4,923万円		3億6,903万円	0円		6億3,240万円	
工業用水道事業	予算額	2,749万円	8.8%	2,749万円	0円	-	18万円	0%
	収入済額または執行済額	243万円		98万円	0円		0万円	
下 水 道 事 業	予算額	14億5,143万円	50.9%	12億7,923万円	32億4,324万円	2.1%	37億3,558万円	20.9%
	収入済額または執行済額	7億3,865万円		1億6,693万円	6,931万円		7億8,223万円	
病 院 事 業	予算額	78億3,519万円	44.5%	94億3,848万円	99億2,990万円	0%	104億6,238万円	43.0%
	収入済額または執行済額	34億8,868万円		33億3,690万円	0円		45億 8万円	

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。

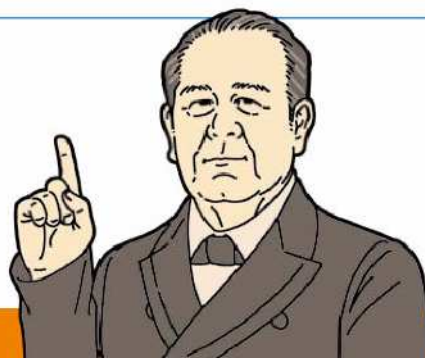
霧島市では、年度ごとの「まちな家計」の収支を保ちながら、将来にわたり持続的な財政運営ができるよう取り組んできました。

今後も限られた財源を有効活用するために、既にある事業の効果や効率性などを常に検証した上で、内容の見直しを図り、節減・合理化の取り組みを進めます。

これからも市民の皆さんが安心して暮らすことができるよう、身の丈に合った健全な財政運営に努めていきます。

☎=財政課 ☎(64)0917

過去の財政事情はホームページに掲載しています。



# 令和5年度 特別・企業会計の決算

霧島市には、五つの特別会計と四つの企業会計があります。決算状況は表のとおりです。



## ◎特別会計

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険	144億7,254万円	142億9,862万円	1億7,392万円
後期高齢者医療	17億2,607万円	17億1,811万円	796万円
介護保険	118億9,344万円	113億7,417万円	5億1,927万円
交通災害共済	3,519万円	976万円	2,543万円
温泉供給	8,949万円	8,214万円	735万円
計	282億1,673万円	274億8,280万円	7億3,393万円

## ◎企業会計

会 計 名	収益的収入・支出		資本的収入・支出	
	収入	支出	収入	支出
水 道 事 業	26億2,453万円	17億7,636万円	300万円	13億 598万円
工業用水道事業	2,834万円	2,399万円	0万円	7万円
下 水 道 事 業	14億1,513万円	12億 720万円	6億 249万円	9億4,781万円
病 院 事 業	67億7,070万円	74億 474万円	47億4,190万円	52億4,508万円
計	108億3,870万円	104億1,229万円	53億4,739万円	74億9,894万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。

## 用語説明

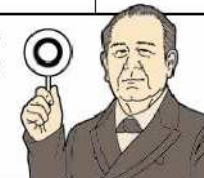
収益的収入・支出 / 企業の経営活動に伴って発生する収益と費用(料金収入、人件費など)  
資本的収入・支出 / 将来の経営活動に備えて行う建設改良などに関する費用とその財源となる収入

**市**のお金が足りているか  
「借金をし過ぎていないか」など、市の財政が健全かどうかを判断する物差しとして、各種指標(下表)があります。  
例えば、削減が難しい義務的経費などの経常的な支出(固定的に支出されるお金)が、市税など経常的な収入(安定的に確保できる見込みのお金)に占める割合を示す「経常収支比率」は、前年度と比べて0.6ポイント上昇し、87.8%となりました。  
国が法で定めている「健全化判断比率」関係では、財政規模に占める借入金返済額の割合を示す「実質公債費比率」が前年度と比べて0.5ポイント改善し、6.0%となりました。一般会計と企業会計を含む全会計の実質赤字額に関する比率や、将来の実質的な財政負担の大きさを示す比率はいずれも、国が健全化を促す基準を下回っており、本市はおおむね健全な財政運営であるといえます。

## ◎主な指数など(決算統計、健全化法)

指 数 等	令和5年度	令和4年度
1 財政力指数	0.54	0.54
2 経常収支比率	87.8%	87.2%
健全化判断比率		
3 実質赤字比率	-	-
4 連結実質赤字比率	-	-
5 実質公債費比率	6.0%	6.5%
6 将来負担比率	-	-
7 資金不足比率	-	-

※「-」の表記は、赤字額、将来負担比率、資金不足額がないため、記載すべき比率がないことを表します。



## 用語説明

- 1 財政力指数** 地方交付税法に基づき算出した支出に対する収入の割合を指標化したもの(3年間の平均値)。一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされる。
- 2 経常収支比率** 義務的経費など、削減が難しい経費がどの程度あるかを指標化したもの。比率が低いほど、お金の使い道に自由度があるとされる。
- 3 実質赤字比率** 一般会計などの財政規模に対する実質赤字額の比率。(早期健全化基準:11.6%)
- 4 連結実質赤字比率** 全会計を対象とした財政規模に対する実質赤字額が資金の不足額の比率。(早期健全化基準:16.6%)
- 5 実質公債費比率** 財政規模に対する借入金返済額などの比率(3年間の平均値)。(早期健全化基準:25%)
- 6 将来負担比率** 一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高が、財政規模に占める比率。(早期健全化基準:350%)
- 7 資金不足比率** 公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率(霧島市の公営企業会計:温泉供給、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業)。(経営健全化基準:20%)

持続可能な財政運営のために